

小倉薬剤師会 10月学術研修会のご案内

謹啓 先生方におかれましては 益々ご健勝のこととお慶び申し上げます。
さてこの度、以下の要領にて小倉薬剤師会学術研修会を開催いたします。
ご多忙中、誠に恐縮とは存じますが、万障お繰り合わせの上ご出席頂きますようお願い申し上げます。

謹白

【日時】 2018年 10月 16日 (火) 19:00～

【場所】 小倉薬剤師会館 3階 研修室
北九州市小倉南区富士見2丁目8番20

【情報提供】 19:00～19:15

『抗インフルエンザウイルス剤 —ゾフルーザ錠 10mg、20mg』について

塩野義製薬株式会社

- 【P S】 1. ヒューマニズム (倫理) : ③-2・3
2. 医薬品の適用使用 (安全性、経済性) : ①-13・29、②-99・103・156、③-1・6

【特別講演】 19:15 ～20:15

座長 学術委員会 井原 由紀子

『 インフルエンザ治療と対策 』

演者 一般財団法人平成紫川会 小倉記念病院

感染管理部 部長 宮崎 博章 先生

<講演会要旨>

毎年のようにインフルエンザが流行して、大きな社会問題となっています。

小児と高齢者では、重篤な脳症や肺炎などを併発して、死亡例や後遺症を残す症例もあります。また、院内感染でアウトブレイク事例も多く報告されています。

すでに、抗インフルエンザ薬が内服、吸入、注射薬と3種類使うことができます。今回、新たに単回内服投与で治療が可能となった「ゾフルーザ」が上市されました。

ゾフルーザは、従来のノイラミニダーゼ阻害薬と異なった、キャップ依存性エンドヌクレアーゼ阻害という新たな作用機序を有しています。

今後、臨床の現場で、どのように使われていくか、インフルエンザの現状を踏まえて考察をしていきます。

共催：(一社)小倉薬剤師会
塩野義製薬株式会社